



補修範囲の確認

・テストハンマー等で打診し、浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。

アンカーピンニングの本数と配置の決定

・アンカーピンニング孔の穿孔位置を下表に準じて、チョーク等でマーキングする。  
アンカーピン標準本数

アンカーピン本数			注入孔の本数 (本/㎡)		
一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (m)	一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (m)
13	20	5	12	20	5

※指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等を言う

アンカーピン挿入口のせん孔

・コンクリート用振動ドリル等を用いて壁面に対し直角にせん孔する。  
・アンカーピンニング用のせん孔深さは、構造体コンクリートに30mm程度、せん孔径はアンカーピンの直径より1~2mm程度大きい直径とする。

孔内の清掃

・孔内をブラシ等で清掃後、圧搾空気等で切粉等を除去する。

エポキシ樹脂の計量・混練

・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、十分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。

エポキシ樹脂の注入

・グリスポンプを用いて、穿孔部の最深部から適切な圧力を保ち徐々に注入する。充てん量は指定がある場合を除き、25ml (約30g) / 1ヶ所とする。

アンカーピンの挿入

・モルタルの厚さに合わせ適切な長さの全ネジ切りアンカーピン (SUS304) を選定し、ネジ切り部分にアンカーピン固定用エポキシ樹脂を塗布してから、気泡の巻き込みに注意して孔内最深部まで確実に挿入する。  
・アンカーピンの頭は仕上げ面から5mm程度引っ込むようにし、孔内からはみ出したエポキシ樹脂は除去する。

養生

・アンカーピン固定部は、夏期15時間、冬期24時間以上は衝撃を与えないようにし、雨水等からも養生する。

残存浮き部への注入孔位置決め

・テストハンマー等で打診して、残存浮き範囲を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。

注入孔のせん孔

・アンカーピン固定用エポキシ樹脂の硬化後、構造体コンクリートに対し5mm程度の深さまでせん孔する。

孔内の清掃

・孔内をブラシで清掃後、圧搾空気等で切粉等を除去する。

注入用エポキシ樹脂量の計測・混練

・主剤と硬化剤を規定量正確に、計量し、十分に混練する。

残存浮き部への注入

・グリスポンプを用いて、エポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入する。  
・注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部に全面注入する。  
・注入後、注入孔をパッキン、ウエス等でふさぐ。

養生

・注入後、夏期15時間、冬期24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、雨水等からも養生する。

仕上げ

・表面に目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂等を充てんし、仕上げを行う。

清掃

・注入部以外に付着した樹脂汚れを除去し、清掃する。

自主検査

・テストハンマー等で打診して注入状態を確認するとともに、後かたづけを確認する。残存浮き部が確認されたならば、再度注入する。